

田辺市の概要

1. 田辺市の概要

平成17年5月1日、5市町村の合併により誕生した田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置する近畿最大の行政区域を有するまちです。

みなべ町、印南町、日高川町、有田川町、奈良県野迫川村・十津川村、新宮市、古座川町、上富田町、白浜町にそれぞれ隣接しており、西よりの海岸部に都市的地域を形成、そこから東向きに森林が大半を占める中山間地域が広がっています。主な水系としては日高川水系・富田川水系・日置川水系・熊野川水系の4水系を抱える広大な圏域です。

気候は海岸部の温暖多雨な太平洋型気候から山間地における内陸型の気候まで広範囲にわたっています。

また、田辺市は、和歌山県・奈良県・三重県にまたがる三つの霊場とそこにつながる参詣道、それらを取り巻く文化的景観で構成するユネスコの世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の中心地に位置しています。さらに、地域環境を生かし、高品質な梅を持続的に生産してきた当地域独特の農業システム『みなべ・田辺の梅システム』が国際連合食糧農業機関の世界農業遺産に認定されており、田辺市は二つの世界遺産を有するまちでもあります。

・総面積	1,026.91 km ²
	(東西約46km、南北約47km)
・人口	73,548人
内訳	男 34,638人
	女 38,910人
・世帯数	35,287戸



県内の位置

※ 総面積は、平成27年10月1日現在の国土地理院の公表値によるものです。

※ 人口と世帯数は、令和元年5月31日現在の住民基本台帳登録によるものです。

2. 令和元年度 一般会計 当初予算

44,090,000千円

(単位：千円、%)

